



健康一口メモ

仙台市医師会
広報委員
川村 和久

題名をみて、オヤツと思った人も多いでしょう。麻疹なんて過去の病気・子どもの病気、なぜ話題になるのでしょうか？

実は、麻疹患者が253人確認され、昨年を上回っています。(国立感染症研究所4月15日)。
2007年頃若年層に麻疹が流行し、高校・大学が休校などの社会的混乱を引き起こしました。若年層に流行した理由は、幼児期に接種したワクチンの抗体価(免疫)が年齢とともに低下したためです。MR(麻疹・風しん)ワクチンが2回接種となり、更なる対策の効果で昨年は232人まで減少しました。

現在、過去6年間で最多の732件を上回る勢いなのは、さらに患者が増加する可能性が高いということです。もう一つの問題は、流行中のウイルスはフィリピン等から輸入されていることです。麻疹は初期にはカゼと区別が難しいこと、感染力がインフルエンザの10倍も強いことが流行拡大の理由です。また、現在でも治療

何で、今頃麻疹なの？



青葉区高松

法は無く対症療法に限られ、時には死に至る重症な病です。
年齢分布では、「20～29歳」23%が最も多く、「1～4歳」20%、「30～39歳」17%の順で、子どもの病気とは言えません。接種歴では「なし」は当然ですが、1回接種でも前述の理由で感染することがあります。

ワクチンのお陰で、ほとんどの子どもたちは免疫を持っていきます。しかしながら、海外旅行中や持ち込まれたウイルスに感染した大人たちから、社会に広がっていくのです。

病気から子どもたちを守る、そして社会を守ることは、大人としての義務です。麻疹に対する唯一の予防法はワクチンです。是非この機会にMRワクチンを受けましょう。

仙台商工会議所

あなたの経営課題を解決します!

起業予定の方、様々な経営課題を抱える事業所の皆様をワンストップで支援します。まずはご相談ください。

窓口相談

中小企業診断士や税理士、弁護士が専門的な知識・豊富な経験を生かし、皆さまの経営全般に係わるさまざまな課題や消費税転嫁対策に係わる課題の解決をサポートします。

【窓口相談専門家】(10:00～15:00)

- 菅井 喜悦 (中小企業診断士) / 毎週月・水曜日
- 大場 宣英 (中小企業診断士) / 毎週木・金曜日
- 植松 正人 (中小企業診断士) / 毎週火曜日
- 米田 正美 (税理士・中小企業診断士) / 第3・4木曜日
- 佐藤 和仁 (税理士) / 第1・3水曜日
- 田中 宏司 (中小企業診断士) / 毎週火曜日
- 曾我 陽一 (弁護士) / 毎月1回担当

専門家派遣

小規模事業者の皆さまの経営課題に対して各分野の専門家(弁護士、税理士、社会保険労務士など登録専門家130人)の中から最適な専門家を派遣し具体的なアドバイスで問題の解決を図ります。

セミナー

事業再生、事業承継、労務問題、創業等の各種セミナーや交流会を開催し、経営課題解決に有益な情報提供を行います。

相談無料

※ご利用の際には事前にお電話でご予約ください。

TEL.022-265-8127

■お問い合わせ、ご予約は

仙台商工会議所 中小企業支援部経営支援チーム

〒980-8414 仙台市青葉区本町 2-16-12 TEL.022-265-8127